

合併前の石川市、勝連町、与那城町の名誉市民及び名誉町民

区分	氏名	功績	授与日
石川市	伊波 信光	戦前、戦後を通じ学校教育に従事し多くの立派な人材を世に送り出した。戦後は、文化財保護や社会教育の重大さに目を向け幅広い活動をし、貢献した。	平成7年1月5日
石川市	新城 紀秀	長年にわたり市の学校教育、社会教育、文化財保護、その他市民福祉の増進に貢献した。	平成17年3月17日
石川市	平川 崇	石川市長として7期28年、助役2期6年と34年間市政に努め、教育、文化及び住民福祉の向上と地方自治の発展に貢献。主に赤崎埋立事業は、企業誘致による経済の活性化につながり、また終末処理場の完成は、石川ビーチの環境改善につながった。	平成17年3月17日
勝連町	山中 貞則	離島苦の解消として「津堅島、浜比嘉島への海底送水事業・送電事業」「伊計島、藪地島、浜比嘉島への架橋」「きむたか交流プラザ」その他公共施設の整備に貢献した。 (初代沖縄開発庁長官、平良市など六市町村から名誉市民、平成16年5月11日名誉県民賞)	昭和50年6月15日
与那城町	山根 清義	老人憩いの家建設、大型マイクロバス購入、育英資金等に多額の寄附を行い、行政、福祉、教育の発展に寄与した。	平成15年2月23日

うるま市 名誉市民

区分	氏名	功績	授与日
うるま市	當銘 由親	具志川市長として5期20年、村議4期、市議1期合計16年の議会議員在職中2期8年間議会議長を歴任するなど36年間努め、教育、文化及び住民福祉の向上と地方自治の発展に貢献。旧4市町を含む、し尿処理場建設においては一部事務組合を結成し同施設を完成させたほか、中城湾港新港開発においては多大な尽力をつくされ、現在のうるま市の企業誘致による経済の活性化につながっている。	平成27年12月26日
うるま市	(故)吉野 勇吉	勝連村長及び勝連町長として5期20年、村助役10年、村議会議員8年と38年間努め、教育、文化及び住民福祉の向上と地方自治の発展に貢献。中城湾港新港開発、離島苦解消においては尽力をつくされ、現在のうるま市の農水産業振興や企業誘致による経済活性化、浜比嘉架橋建設を推進した。	平成27年12月26日